



# 根小屋小だより

子どもの根っこを太くたくましく ～一人ひとりの自己肯定感を育てる～  
相模原市立根小屋小学校 令和8年6月1日 NO.3

## 心をつなぐ「あいさつ」の輪

新緑が目には鮮やかな季節となりました。新年度のスタートから早いもので2ヶ月が経ち、子どもたちは新しい学年の生活に慣れ、毎日元気に活動しています。



### 【本校を彩る、微笑ましい「あいさつの声」】

「おはようございます!」「さようなら!」本校の1日は、元気なあいさつの声で始まり、心地よいあいさつの声で終わります。

朝の登校時はもちろんですが、特に印象的なのが体育館での朝会や集会のときです。後から体育館に入ってくる学年の子どもたちが、誰に言われるでもなく、口々に「おはようございます」と声をかけながら入場してきます。すると、すでに体育館で待っていた学年の子どもたちからも、自然と「おはようございます」の返事が返ってくるのです。体育館全体が優しい空気に包まれる、大好きな瞬間のひとつです。さらに、用事があって職員室を訪ねてくる子どもたちの姿にも感心させられます。少し緊張した表情を浮かべながらも、「〇年の〇〇です。」と名を名乗り、用事が済むと「失礼しました。」と、正しいマナーで一生懸命に伝えようとする姿はとても立派です。また夕方になると、学童から帰る子どもたちが、職員室の前(犬走り)からわざわざ職員室の中に向かって「さようなら!」と大きな声を届けてくれることがあります。1日の終わりにとてもうれしい気持ちになります。

### 【3校合同の修学旅行で輝いた6年生】

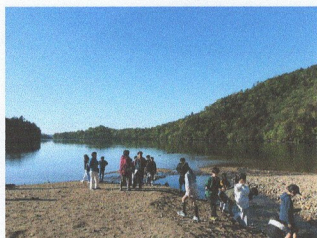
5月24・25日に、6年生が修学旅行に行ってきました。3校合同での実施ということもあり、事前にオンラインで交流を重ねていたものの、「他校の友だちとうまくかかわれるかな...」と、出発前は少しドキドキする気持ちもあったことと思います。

しかし、そんな心配はまったく無用でした。子どもたちはすぐに打ち解け、移動中や班行動のなかで、「ありがとう!」「大丈夫?」といった、お互いを思いやる言葉が自然と出ていたのがとても印象的でした。

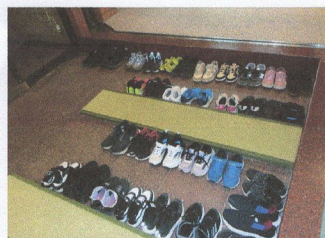
今回の修学旅行のテーマは『仲間と協力し、メリハリをつけて学び、全力で最高の思い出をつくらう』でした。学校の枠を越え、互いを尊重し合いながら最高の思い出を作り上げた6年生。「話をしっかりと聞く」「任された役目を果たす」「時間を意識する」「自分の目でしおりを確認する」「日光について調べたことを仲間と共有する」「困ったことは相談する」「思い切り楽しむ」・・・その姿は本当に立派で、最高学年としての頼もしさを改めて実感させてくれました。この貴重な経験を糧に、これからの学校生活でもさらにリーダーシップを発揮していくことを期待しています。

子どもたちの「あいさつ」や「思いやりの言葉」は、学校だけでなく、ご家庭や地域の皆様の温かい見守りがあってこそ育まれるものです。いつも本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

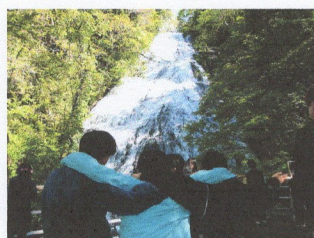
暑さが心配な時期になってきますが、子どもたちが健康に、そして笑顔で毎日を過ごせるよう、職員一同サポートしてまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。



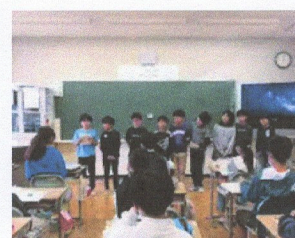
晴天の湯ノ湖 朝の散歩



脱いだ靴が美しくピシッと並びました(ホテルにて)



迫力の湯滝  
思わず肩を組みたくなりました



5年生が6年生に「行ってらっしゃい!」留守を5年生がしっかり守ってくれました